

1 開会

事務局司会により開会

2 議事等

(1) 千葉県高齢者保健福祉計画(案)について

事務局から説明後、意見交換

(会長)

計画(案)に対して、に対して、意見等あればお願いしたい。

(委員)

国の社会保障と税の一体改革の目指すところは、どのように反映されているのか。

(事務局)

地域包括ケアシステムのイメージ図は、国の社会保障と税の一体改革の目指す将来像という資料を元に作成したもの。また、医療なしのシステムは考えられないということで、イメージ図にも地域医療連携について盛り込んでおり、計画のタイトルも、保健福祉計画としており、医療を念頭に入れている。

(委員)

予防は多方面に有効な施策だと思うので、重度化だけでなく、充実を図ってほしい。また、参加を促すような支援を図ってほしい。

(事務局)

予防の施策に参加してくれる方が全国的に減ってきている。市町村毎に実態を調べて、県としてどういった支援ができるか考えていきたい。

(委員)

計画全体の指標及び住生活に関する満足度のデータの根拠となっている調査はどのようなものか。

(事務局)

県で実施している県政世論調査結果によるもの。毎年、経年調査を行っている。

(委員)

介護予防に関し市町村に実態調査をするということだが、口腔ケアや運動に関する項目に加え、寄合所、居場所の有無についても調査してもらいたい。

(事務局)

国の調査項目は動かすことができないが、県独自に調査ができないわけではないので、御提案として承る。

(会長)

他に意見がなければ、本日の意見を踏まえ、事務局で修正の上、最終案に向けて作業を進めてもらうこととしたい。修正内容については、当職と事務局に一任願いたいがいかがか。

【各委員、異議なく了承】

(2) 生涯大学校マスタープラン（案）について

事務局から説明後、意見交換

（会長）

マスタープラン（案）に対して、意見等あればお願いしたい。

（委員）

コーディネーターとは誰を指すのか。また、市町村との連携の状況の評価のあり方について教えてほしい。これらの取組はとてもよい試みだと思うので、マスタープランへの記載で終わってはいけないと思う。

（事務局）

どちらも、まだ具体的な部分まで決まっていない状況。コーディネーターについては、既に活動をやっている方や場合によっては生涯大学校の卒業生などを想定しているところである。連携の評価についても、指定管理者も決まっていない段階なので、具体的には今後決めていく予定。

（委員）

卒業生の有効活用について、卒業生が自分の市町村にいるということは、誰が把握しているのか。把握している人がいれば有効活用が可能。個人情報の取扱が難しいことは承知しているが、市町村が把握していることは非常に重要と思う。

（事務局）

確かに名簿等、生の情報を開示することは難しい。地元で活躍されている卒業生は多くいるが、市町村にも県にも個人情報は入ってこない。連携に際しては、各学園に卒業生組織の事務局があり、そこを通じて市町村との連携強化を図っていく。個人情報に関わる部分については、本人の同意を得るなどのルールが必要と考えている。

（委員）

在宅の高齢者ニーズにボランティア活動が結び付いていないという地域の現状がある。コーディネーターの設置については、非常に評価しており、こういう部分で何かできたらいいと思う。

（事務局）

意欲のある生涯大学校卒業生が大勢いるのに、ボランティア活動に結び付いていないのは非常に残念。コーディネーターの設置もそうだが、市町村との連携においては、積極的な働きかけが必要と感じている。個人情報については、きちんと管理しつつ、できるだけ情報を提供していくような制度を構築できるといいと思っている。

（委員）

入学定員について、現在でも定員割れは一部のみで、ひっ迫しているように思うが、比較的若い人も受け入れるとなると心配である。高齢者とのバランスについて、どのように調整を考えているのか。

（事務局）

生涯学習の観点から、また、意欲のある方にチャンスを与えるという意味で、退職前でも入学できるように55歳まで引き下げた。特に東葛では倍率が高いが、曜日等によってばらつきがあるし、なかなか人の集まらない地区もある。

(会長)

年齢要件の引き下げに係る高齢者とのバランスへの配慮については、委員の皆さんの意見を踏まえて、事務局で検討してもらいたい。

他に意見がなければ、本日の意見を参考に策定の事務手続きを進めてもらうこととしたい。

(3) その他

事務局からの事務連絡

5 閉会

事務局司会により閉会